

見てわかる “しんきん”

'98 ミニ・ディスクロージャー



新庄信用金庫ステンドグラス「北の春」 近岡善次郎画伯



ごあいさつ

平素より格別のお引き立てを賜りまして誠にありがとうございます。また、当金庫の事業に対しまして、ひとかたならぬご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成9年度を顧みますとわが国経済は、財政再建を期しての公共投資の抑制と、消費税引上げ等に伴う個人消費を中心とする内需減速の影響が、生産面や雇用・所得面に強く及んでいるほか、昨年夏以降のアジア経済危機による混乱、金融機関・証券会社等の相次ぐ破綻や自主廃業の動きが先行きの不透明感を一段と増幅させており、政府の度重なる景気対策にもかかわらず厳しい状況のまま推移しております。

こうした厳しい環境の中、当金庫は1923年（大正12年）6月に創業以来、常に「地域社会の繁栄に貢献する」ことを経営理念として業務に取り組んでおります。

このたび、みなさまがたに、当金庫をより一層ご理解いただくため、このミニ・ディスクロージャー誌「見てわかる“しんきん”」を作成いたしました。

平成10年度も、これまで以上に役職員一致協力して真に信頼される金庫づくりを目指してまいり所存です。

今後とも、ますますのご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成10年8月

理事長 松野 孝一

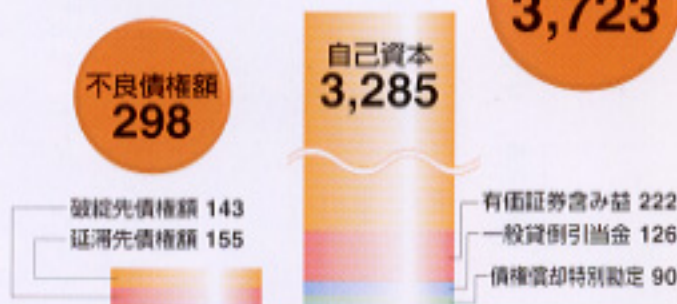
基本方針

- 郷土の繁栄に心から奉仕する
- 内容の堅実な金庫にする
- 和顔愛語に満ちた明朗な庫風を創る
- 待遇の優れた金庫にする

1 経営の安全性

不良債権と経営体力

(百万円・単位未満は切り捨て)

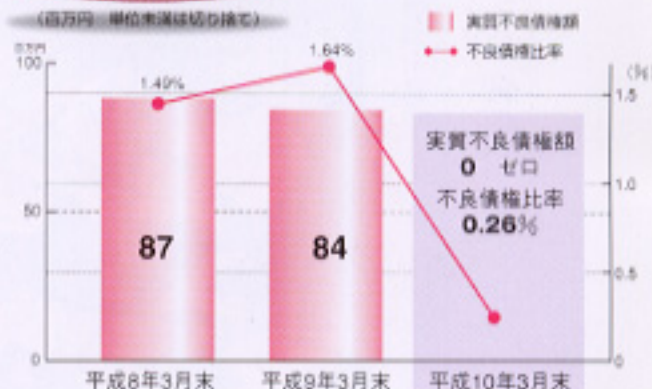


経営体力
3,723

平成10年3月末の不良債権額は298百万円です。うち208百万円は担保等でカバーされています。残りの90百万円については、回収されない場合に備えて債権償却特別勘定90百万円を引き当てておりますので、実質の不良債権はゼロとなっております。また、一般の貸倒引当金126百万円を引き当てており万全の備えをしております。

不良債権の取り組み

(百万円・単位未満は切り捨て)



実質不良債権：(公表不良債権額(不良債権額-担保等回収見込額)-債権償却特別勘定繰入額)÷不良債権比率：公表不良債権額÷貸出総額×100

※不良債権額：(破綻先)破綻先・延滞・金利回収特・経営支援先の債権額の合計です。

自己資本比率

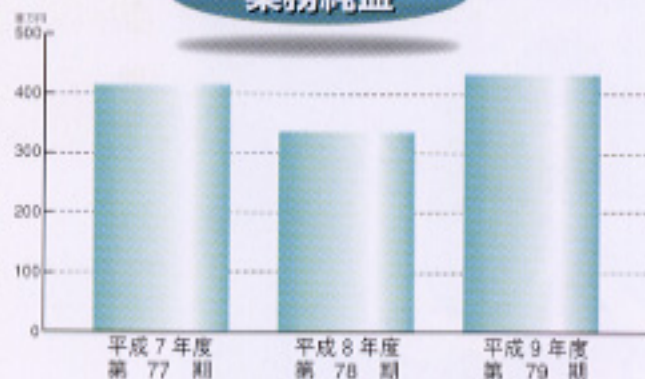
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット}} \times 100$$



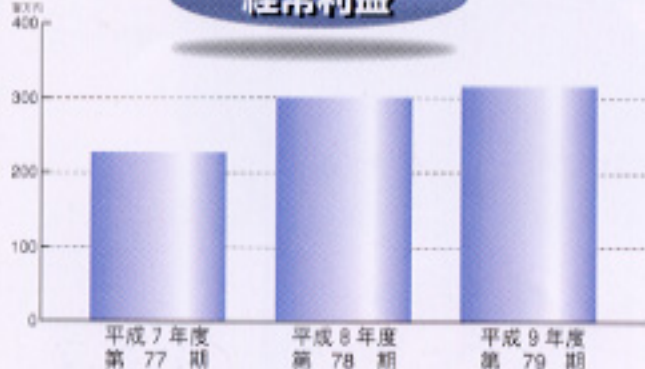
自己資本比率は **11.77%** (平成10年3月末) 国内基準の4%を大きく上回っています。

2 収益の推移

業務純益



経常利益



当期利益



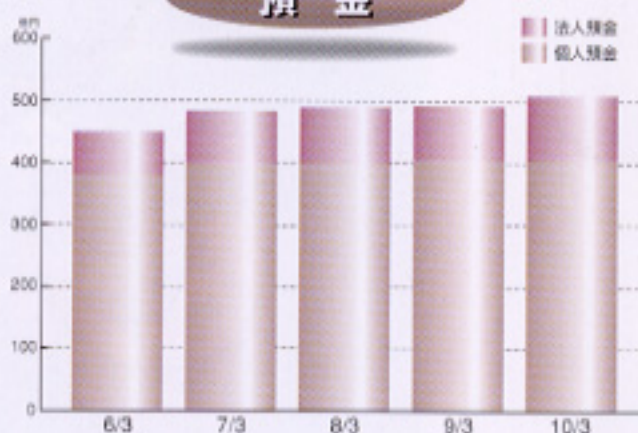
(百万円 単位未満は切り捨て)

	平成7年度	平成8年度	平成9年度
	第77期	第78期	第79期
業務純益	419	330	431
経常利益	235	296	309
当期利益	173	191	225

平成9年度決算は、低金利が続く中、資産の効率的運用と調達に努め、収益力を強化していくと同時に、経営全体の合理化、効率化に努めました結果、本業での利益を示す業務純益は前年比31%増の431百万円となりました。また、資産内容の健全化のため自己査定に基づき十分な貸出金等の償却ならびに引当金の繰入を行いました結果、経常利益は309百万円、税引後の当期利益は225百万円となりました。

3 預金・貸出金の推移

預金

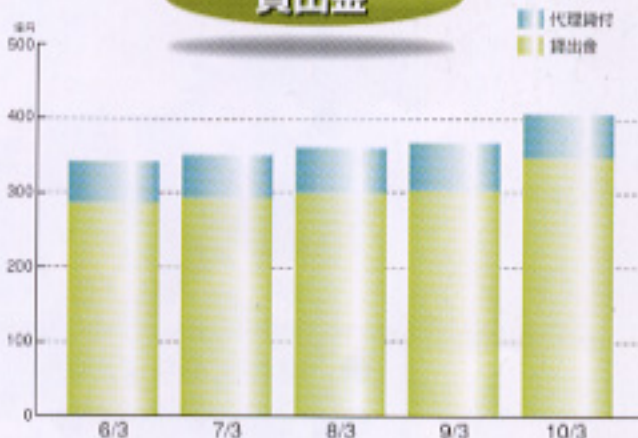


(億円 単位未満は切り捨て)

	平成6年 3月末	平成7年 3月末	平成8年 3月末	平成9年 3月末	平成10年 3月末
個人預金	361	384	385	398	397
法人預金	79	80	91	96	111
預金残高合計	441	464	477	484	509

法人預金、個人預金の堅固な増加により、平成9年3月末と比較し25億円増加しました。

貸出金



(億円 単位未満は切り捨て)

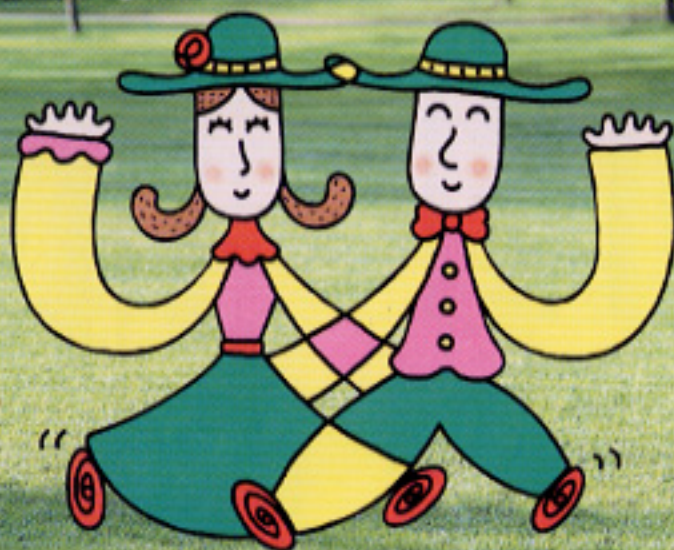
	平成6年 3月末	平成7年 3月末	平成8年 3月末	平成9年 3月末	平成10年 3月末
貸出金残高	268	276	295	299	340
代理貸付残高	61	63	59	63	66
計	329	340	355	363	406

地元中小企業向け貸出や住宅ローン、消費者ローン等の増強に取り組んだほか、山形新幹線の新庄延伸事業への積極的参加により、貸出金は平成9年3月末と比較し41億円増加しました。また代理貸付は住宅金融公庫等貸出の増加により3億円増加しました。

●貸出運営についての考え方

信用金庫の融資は相互扶助に基づく小口多数取引を基本として地域内の中小企業の育成を目的としており、銀行が収益を第一に考えて大口融資をするのとは事情が違います。信用金庫は、規模が小さくても発展性のある、多数の中小企業をリスクテイクしながら支援しています。当金庫の平成10年3月末の中小企業等に対する貸出金は、総貸出金の97.4%を占めております。

😊😊 Face to Face



もっと知ってほしいなっ。 信用金庫

- 全国の信用金庫の数.....401金庫
- 店 舗 数.....8,668店舗
- 全国の信用金庫の資金量.....100兆円
- 全国信用金庫連合会の資金量.....15兆円

おかげ様で、上記のようになりました。心から感謝申し上げます。



より詳しい内容は各営業店に全国信用金庫協会のディスクロージャーに関する統一開示基準に基づいたディスクロージャー誌「信用金庫の現況」を備えておりますので、ご覧ください。

新庄信用金庫

ホームページ <http://shinjo.dewa.or.jp/shinjosk/>

■本店／山形県新庄市本町2番9号 ■作成／本部（業務システム部）☎0233-22-4222